

今回の報道に関して

急啓

本校硬式野球部監督による不適切な指導があったことが、令和5年8月22日夜、SNSにて投稿された動画（以下：当該動画）から発覚いたしました。発覚直後の翌23日、管理職から監督に聞き取りを行ったところ、生活態度等について生徒に指導する際、平手打ちや押し倒す暴力行為があったことを認めました。

よって、同日23日、大阪府高野連に当事案を報告し、その後、大阪府私学課にも同様の内容を報告いたしました。監督は現在、指導停止の謹慎処分としておりますが、今後の処遇については、日本学生野球協会審査室および日本高野連からの処分決定後、本校としての処遇を再度検討いたします。尚、硬式野球部員ならびに保護者たちへの説明は速やかに実施をし、既に終えております。

当該動画は野球部寮内防犯カメラのものでありますが、情報管理の観点から、防犯カメラ映像を視聴できる人間は限定しており、ごく少数かつ特定のスタッフのみが確認できる体制でありました。しかしながら、このような事態に至ったため、警察にも相談をしています。

また、押し倒す暴力行為については昨年発生したことであり、事態の報告がなされていなかったことについて、監督は「指導の不適切さ」の認識欠如があったと認めております。監督は、技術指導だけではなく私生活の指導にも重点を置き、「野球人として立派な大人に成長して欲しい」という強い思いをもって、保護者の皆様ともコミュニケーションをとりながら、日々指導にあたっております。その思いがあふれ、このような行き過ぎた指導になってしまったと説明がありました。

本校としましては、指導の現場での暴力行為は、どのような経緯・関係性があろうと看過できるものではないと考えております。今後も継続して、コンプライアンスを徹底すると共に対話を重んじた学校づくりを目指してまいります。

草々

学校法人 偕星学園

大阪偕星学園高等学校 校長 梶本 秀二